

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 地域における課題について	1. 市政執行方針冒頭部分で、「国においては一億総活躍社会の実現を目指し、新・三本の矢に基づく対策が講じられているところですが、国の動向を注視しながら刻々と変化する社会情勢を捉え、滝川の展望と課題を今一度見つめ直す中で慎重に市政運営にあたってまいります。」と決意を述べていますが、地域における重要課題はどのように捉えているか伺います。			
	2. 収納率向上について	1. 新年度予算歳入においては、市税、普通交付税、特別交付税が減少する中で予算編成には厳しさが表れていると思いますが、現状においては、基金からの繰り入れでバランスを取り、予算を編成しております。歳入確保の面から、市税の滞納の収納率向上が求められると考えるが、取り組み、対応について伺います。			
	3. 財政健全化計画について	1. 財政健全化計画のスタートする中で、将来負担への不安払しょくは、優先的に捉えていかなければと考えますが、市長の見解を伺います。また、計画が5か年というスパンにおいて、各種事務事業の見直しを図るが、市長の任期中に計画を達成すべくさらなる見直しを進めていくべきと考えるが、市長の財政健全化計画への決意を伺います。			
	4. 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1. 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、地方創生ビジョンの内容に沿ったものと解するが、市民各位からの意見・声が予算に反映するのかわかります。また、各種調査を実施し、分析を繰り返しているが、調査結果と戦略テーマが適合し、滝川市として進める事業とマッチするのかわかります。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
	5. 滝川市総合計画について	1. 滝川市総合計画は長期にわたる指針であることから、常に点検、検証が必要と考えるが、どのようにチェックされているのか伺います。また、国の施策方針である地方創生ビジョンが主体的となっておりますが、現、第4期計画との大きな相違はあるのか、基本計画における内容との結びつきはどのようにになっているのか。さらに、基本計画がどの程度の進捗及び成果として捉えているのか伺います。			
2. 元気な産業と活力あるまちづくりについて	1. 農業を起点とした元気な地域産業づくりについて	1. TPP（環太平洋パートナーシップ）を鑑み、農業所得向上と冬の仕事づくり対策として、ハウス導入に向けて農業系バイオマスの利用等再生可能エネルギー導入を検討するとしているが、検討内容、時期について伺います。			
		2. 冬のしごとづくり事業の取り組みにおける通年雇用の考え方と課題点はどのように認識されているのか伺います。			
		3. 農商工連携事業の取り組みでは、生産、加工、流通、販売の供給連携に向けて、農業者が早急に実施すべきと考えますが、具体的にいつごろまでに検討会を立ち上げるのか伺います。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
		4. 地産地消事業の取り組みでは、6次化という言葉が見当たらないが、基本的には地元で対応していくのが原則と考えます。消費拡大のヒントは地元のロコミが大きいと考えるが、どのような展開を求めていくのか伺います。			
	2. 持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立について	1. TPPの動向を注視していくとありますが、滝川市としての取り組み、課題は山積する中で、新規就農支援に欠かせない点としては、何が考えられるのか。(例えば、後継者問題、休耕田等の取り扱いがあると考えるが) また、滝川農業塾についても重点的に取り組まなければならない点は、さらに農業生産法人育成についても行政としてどのような具体策が提示できるのか伺います。			
	3. 力強い産業の育成、雇用の確保について	1. 雇用問題は深刻さを増している中で、「産業創出促進助成金」制度の実質的運営に関わる滝川市産業活性化協議会は、制度のPRを含め、現状においての課題をどのように認識しているのか伺います。また、地元投資に向けて、市長自らトップセールスとしての意気込みをどのように考えているのか伺います。			
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 地域自ら取り組む地域振興事業の推進について	1. 江部乙地区では、「日本一の菜の花畑」と「防風林に囲まれたリンゴ畑」を地域資源として、日本で最も美しい村連合に加盟しましたが、加盟要件の一つである樹園地振興に向け、地域おこし協力隊に担ってもらおうとしています、最低でも5年後の美しい村連合再認定の時までに現状より面積が拡大する方向で今後の計画が立てられると思いますが、詳しい振興計画はいつごろ示されるのか伺います。また、江部乙の丘陵地がリンゴの丘となれば、さらなる農業振興はもとより素晴らしい観光資源となります。今後の市長の取り組みの決意を伺います。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目		要 旨		メ モ
	2. 集客・交流事業の推進について		1. 市外から多くの来滝者が見込まれる菜の花イベントに対する取り組み、課題の解消に向けての対策についての考え方を伺います。		
			2. グライダーの魅力に力を入れるようですが、イベントとして「サマースカイフェスタ 2016」の開催に対して、公益社団法人滝川スカイスポーツ振興協会への支援が薄いように感じるが、手厚い具体的な支援を考えているのか伺います。(金銭的、人的等)		
			3. 観光情報発信における媒体はいろいろあるが、市民自ら滝川市の魅力発信のできるシステム及び市民の書き込み(ツイッター等)をPR材料として扱うことは可能か。また、観光プログラムはどのようなものと考えているのか伺います。		
	3. 広域観光の推進について		1. 定住圏構想において、広域連携を積極的に進めることとしていますが、具体的に何と何を結びつけていくのかが見えてこない。構想内での取り組み状況はどのようなになっているのか伺います。		
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. コンパクトで機能的な都市の形成について		1. 滝川市公共施設マネジメント計画の推進とありますが、公共施設のあり方を含め、市民に十分な説明を実施していくのは当然だと思います。その中で、各施設ごとのあり方を含めた工程表があるが、この計画を進める上でのスピード感があまり感じ取れない。再度工程表等の見直しは考えているのか伺います。		

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
	2. 賑わいのある中心市街地の活性化について	1. 現行の栄町3-3地区優良建築物等整備事業においては、(株)アニム滝川が実施主体として各種作業を進めておりますが、現在、この基本構想において、計画的・技術的・経済的な面を含めて、取り組みの課題をどのように捉えているのか伺います。			
5. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり	1. 地域福祉・自立支援の充実について	1. 高齢者世帯への安否確認など高齢者見守り支援に対する基本的な考えを伺います。 また、第6期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画も平成29年度までですが、市が公募したグループホーム(2ユニット)と小規模多機能型居宅介護施設以外に本来、所得に応じた介護施設の需要が見込まれることから、民間企業が施設整備を進める上で、財政支援をすべきと考えるが見解を伺います。			
		2. 認知症対応型共同生活介護事業所と小規模多機能型居宅介護事業所の開設を支援するとありますが、既存の事業所も含め、行政連携はどのように考えているのか伺います。			
	2. 安心して暮らせる保健・医療環境の充実について	1. 少子化対策の一環として、不妊・不育治療を受けやすくするため、一般不妊治療・不育治療への助成を引き続き行うほか、妊婦健康診査にかかる助成を継続するとありますが、対象市民に対する周知・受診率向上に向けた対策について伺います。また、新たに日本脳炎ワクチンの定期予防接種についても併せて伺います。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
		2. 新公立病院ガイドラインに基づき滝川市立病院改革プランを上半期に策定するとしていますが、歳入が前年度に比較して大幅な減になることから、事務経費と見直しを含め新ガイドラインを早急に策定すべきと考えるが、市長の考えを伺います。			
	3. 災害に強いまちづくりについて	1. 災害に強いまちづくりに向けては、広域防災拠点となる消防庁舎の整備や公共施設の耐震化、防災総合訓練などに取り組むとのことですが、災害時には各団体・企業との災害応援協定が必要と考えますが、協定の締結状況と今後の考えについて伺います。			
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. 滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについて	1. 滝川市で子育てしたいと思う環境づくりを進めるにあたり、結婚・妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援体制の構築が急務であります。女性が活躍できる社会実現をコンセプトとする（仮称）女性活躍推進センターについて、官民連携による施設整備の可能性を探るため、調査・研究を進めるとありますが、具体的にどのように進めるのか伺います。			
7. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 広域連携について	1. 広域連携の重要性がますます高まっています。空知・中空知の広域連携においては、滝川市がさらにリーダーシップを発揮すべきと思うが市長の決意を伺います。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
8. 教育行政執行方針	1. 基本方針について	1. 教育長は今回初めてとなる教育行政執行方針を発表していますが、内容について新鮮さが足りない感が（目新しいものがない）認めません。教育長として、知・徳・体を基本とした滝川市の教育について率直な考えを述べるべきと考えるが、新年度に向けて強い意志を表すべきではないか伺います。			
		2. 基本方針における平成 28 年度では、教育基本法の文面が削除されていますが、基本的の基本が掲載されていないのはなぜか。新教育委員会制度は、教育本来の目的を達成するための組織だが、「教育のマチたきかわ」を標榜するのであれば、まずもって、基本方針には教育基本法を載せるべきと思うが見解を伺います。			
		3. 平成27年度全国学力・学習状況調査結果について、対象となった小学校6年生、中学3年生の教科結果においては全国平均をやや下回っている分析がなされています。そこで、学力向上策として少人数指導、学びサポーター等の推進をうたっていますが、家庭での学習の重要性も唱えております。秋田県においての各成績はトップレベルです。この取り組みは、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢を身につけていることが証明されております。これはいかに家庭での学習意欲が高いと思われま。滝川市においてもできることは早急に取り組むべきと考えるが、見解を伺います。			

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目		要 旨		メ モ
			<p>4. 同じく平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について伺います。対象は小学校5年生、中学2年生で全学校の児童が参加しております。結果としては、調査種目にもよりますが、ほぼ全国平均に届かないものであった。この対策として、体育協会、スポーツ団体等の支援を要請しているが、現状において児童、生徒自ら運動に親しむ傾向が希薄であると感じているが、学校生活での体育、休み時間に関して継続的に調査種目の活動を取り入れるべきと考えるが見解を伺います。</p>		
	2. 学校教育について		<p>1. 学校教育では、児童生徒の能力を育むため知識、技能の習得、力を伸ばし学ぶ意欲の向上とあるが、学校での指導に限られる中では、どのような工夫が必要と考えているのか伺います。</p>		
			<p>2. 市独自に小学校3、4年生で導入している35人学級「滝川市少人数学級実践事業」を子ども一人ひとりに応じた、きめ細やかな指導と見守りの充実を図るため、5、6年生まで拡充するお考えがあるのか伺います。</p>		
			<p>3. 道徳教育についての市独自の「道徳教育推進事業」を実施しておりますが、教職員に限らず、地域に根差す事業展開を図るべきと考えるが、見解を伺います。</p>		

質問順位	2	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
		4. 滝川西高等学校においては、学校の特色である「文武両道」を生かした特色ある教育がなされており、さまざまな活動が展開されておりますが、将来像として学科等を含めどのような未来像をお持ちなのか伺います。			
		5. このたび市内数校の小中学校が、廃止もしくは統合が必要と発表されたが、教育行政方針で小・中学校の適正配置計画については十分な検討をすると述べられていますが、該当する学区の住民等は今後の方向について大変な不安を持っています。いつごろまでに詳しい計画が住民に示されるのか伺います。			
	3. 社会教育について	1. 文化ゾーンの再構築の考え方に賛同いたします。民間投資に触れていますが、積極的に民間移譲に向けての対応も考えるべきと思うが、中・長期的な展開の考え方を伺います。			
	4. スポーツの振興について	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて体制を含め準備を始めるようだが、まだ、市民に対する周知が不足していると感じています。滝川市全体の取り組みに向けて、体制の確立を早急に立ち上げるべきと考えるが、見解を伺います。			